

[03_06]九州大学大型計算機センター広報 : 3(6)

<https://doi.org/10.15017/1467971>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (6), pp.1-70, 1970-12-18. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

編 集 後 記

広報 Vol 3. No.6をお届けします。

先日、名古屋大学大型計算機センターの「ニュース」の創刊号が届きました。来年度開設を目ざして準備の進んでいる様子がうかがわれました。関係の皆様方の御健闘をお祈りいたします。

今年最後の広報は、解説が多かったため、頁数の多いものになりました。前回は引き続き、九大工学部牛島講師に「FORTRANを基礎にしたプログラム言語について(2)」としてDYSTALについてかいていただきました。又、九大工学部須永教授に「CPMの計算」と題して執筆願いました。同時にこれら二つはプログラムライブラリーとして登録してあります。

これらは利用者提供の応用プログラムですが、メーカー提供の応用プログラムもいくつかあります。そのうちの5つを11月24日から4日間にわたり、富士通から講師として来ていただき応用プログラムの講習会をいたしました。このうちLIPSの簡単なテストを致しましたので、LIPSの解説、使い方をのせました。次回はシミュレーション言語のSOLの解説を計画しております。この様な応用プログラムの開発にはそれを実際につかう方々の協力が必要ですので、今後も利用者の方々の協力をおねがいたします。

最近、計算、穿孔依頼もふえ、2階のオープンパンチ室、ディバッグ室、プログラム相談室あたりがなんとなくゴタゴタしております。オープンパンチ室は夜間8時まで利用できますので、あらかじめ申込んでおいて、御利用下さい。

この一年の間、4月には薬院にあった仮設センターからやっと出来上った箱崎キャンパス内の建物に引越しました。5月には開所式を行い、仮設センターだからという甘えは許されないと、センター職員一同張り切って仕事を始めました。8月末には機器構成変更を行ない、その間2週間位計算業務をストップいたしました。その結果、本広報のお知らせにもありますように、ターンアラウンドタイムが早くなりました。利用者の方々も感じていらっしゃると思います。

よりよい大型計算機センターにするために、来年もよろしく御協力をお願いいたします。

(小 野 記)